



行政書士 MAP

福岡県行政書士会

広報部発行

第 22 回：就職氷河期を打破した行政書士

行政書士は扱う業務が幅広い仕事。そのため一人ひとりの得意分野や仕事の流儀、人生の背景も実に多様です。「行政書士 MAP」では、福岡県行政書士会の会員の中から、話題の行政書士や様々な活動を行う行政書士を紹介していきます。

第 22 回は、福岡市中央区で二児の子育て真っ只中の『行政書士・社労士 中山優子法務事務所 中山 優子 会員』を訪ねました。

広報部(以下、「広」)：本日は取材にに応じていただきありがとうございます。まずは、所属支部、登録年次、取扱業務を教えてくださいませんか。

中山会員(以下、「中」)：福岡中央支部所属で、登録が平成 22(2010)年 10 月 15 日になります。また、福岡中央支部では理事も務めております。

広：平成 22(2010)年登録ということは今年の総会で 15 年表彰の対象ですね。おめでとうございます。15 年を振り返っていかがでしたか。

中：よくやってこられたなと感慨深いですね。最初から仕事に恵まれたわけでもないの、色々なところをかけずりまわって、たくさん勉強させていただきました。本当に、たくさんの方に助けられました。そのおかげで今があると思っております。

広：では、取扱業務はどのようなものが多いですか。

中：王道と言われている建設業許可に関する業務はコンスタントに対応しております。最近では、旅館業の業務に恵まれていて、旅館業、民泊などのご相談も増えていきます。建設、宅建、旅館、旅行業、定款作成、議事録作成などを中心に幅広く取り扱っている感じですね。

広：行政書士になる前はどのようなお仕事をされていたんでしょうか。

中：高校卒業後、フリーターをやっていました。当時は就職氷河期で大卒でも就職することが困難な時代。高卒の私は当然希望する仕事に就職することができず、パチンコ屋や競艇場の食堂、夜はバーでアルバイトをしながら簿記の勉強や公務員試験に挑戦し続けてきましたが「全滅」でした。





広:就職氷河期は大変な時代でしたよね。その後、どうなったのですか。

中:ただ、このままではいけないという思いがあり、パート職員でしたが入力オペレーターの仕事に切り替え、昼の仕事に就いて規則正しい生活を送るようにしました。時給は690円くらいだったかと。でもパソコンというものに触れたことがなかったのでタイピングの練習にもなるし、自分のスキルになると思いながら必死で頑張りました。ただ、時給も安く、人間関係も希薄で、入力作業をして一日が終わるという仕事だったので徐々に面白くなってしまいました。それで、やっぱり勉強をして人生を切り拓かないといけないと思い、昔から知っていた行政書士という資格に興味を持ち始め、高卒の私にもチャンスがあるのでは？という思いから、目指してみようと心に決め、資格予備校に通うことにしました。

広:今振り返ると受験を心に誓ったときの気持ちはどんな感じだったのですか。

中:そうですね、「何か現状を打破したい」「人生を変えたい」という強い思いでいっぱいでした。「私の人生はこんなじゃない、もっといい人生を歩めるはずだ」という感じで勉強という道に突き進んだ感じです。そこから目の色が変わって絶対に受かるぞ！という感じでしたね。入力の仕事をしながら日曜日に予備校へ通い、合格まで3年かかりましたが勉強はとても楽しかったです。目標ができるってこんなに楽しいんだと、充実していましたし、苦勞して合格を勝ち取ったことで、自信ができました。



バーでのアルバイト時代

広:合格後はどうされたんですか。

中:司法書士事務所に少し勤務した後、社会保険労務士の資格も気になっていたもので、1年というリミットを決めて試験勉強に没頭させてもらいました。行政書士事務所を開業したら、勉強する時間がないと思っていたので、開業前に勉強に専念させてもらえる環境を作ってくれた親には今でも感謝しています。家族の応援もあり社会保険労務士試験は1発で合格することができました。

広:1回で合格だなんて本当にすばらしいですね。では、最初はどのような業務や活動をしていきたいと考えていたのでしょうか。

中:足がかりとしては遺言・相続が入りやすかったですね。遺言・相続の相談会などにも参加させてもらいました。民法で学んだ知識が活かせるなと思ったんです。

広:お仕事は順調にというか、どのような形で広げられて行かれたのでしょうか。

中:10月に登録し、当時所属していた南福岡支部の支部長に「11月末に支部忘年会があるから来るといい」と言われたので、もちろん出席し、先輩方に色々話を聞き



ました。支部が独自に実施している相談会にも声をかけていただき、先輩方がどのようにして仕事をしているのか情報収集を積極的に行いました。親戚や知人に案内のハガキを送付したり、ポスティングも行いました。遺言・相続のニュースレター(お役立ち情報)を作成し自宅周りの会社を訪問し、「お役立ち情報なのでぜひ読んでください」と言いながら地道に配布していましたね。

広: ではこれまで手掛けた案件で印象に残っている出来事があればお願いします。

中: 印象に残っていると言えば、初めての「定款」作成ですね。認証日当日は公証役場でブルブル震えていたのを覚えています。当時、自分の電子署名を持っていなかったため、福岡中央支部に移籍後にご指導いただいていたベテランの先生の電子署名で初めて電子定款認証の流れを経験しました。公証人が来て、本人確認をし、「無事に認証が終わりました」となるのですが、「間違いを指摘されるのではないか」「何か言われるんじゃないか」と怖くて顔面蒼白でした。そんな姿を見てベテランの先生は横で笑っていましたがね。

広: 登録したての頃はみんな通る道ですよ。何もかもが初めてですし、間違っていたらどうしようって。細かくご指導いただける先生と出会えたのも素敵なお縁ですよ。その先生との思い出は他にありますか。

中: そうですね、その先生からは「実務の勉強だけをしていてもダメ。仕事を獲得することが大事。何でも引き受けて、泣きながら調べてやり遂げた業務はものすごく得意になるから、得意・不得意は自分が決めるのではなく、やってから体感すべきだ」と言われたことを今でも覚えています。当時は研修もなかったですし、受ける業務全てが初めてですからね。泣きながら調べて乗り越えてきました。

広: 話は変わりますが、中山会員のご家族は旅行がお好きだとお聞きしました。



かまくら館にて(秋田県)

中: 旅行は夫婦で大好きです。税理士の夫も20代は勉強詰めでしたし、私も20代は勉強や仕事で生活がやっと、30代は行政書士になっただけでお金も時間も余裕はなく、旅行に行くことができなかったため、旅行に飢えていたわけですよ。今、お互い爆発しているんです。日本全国を制覇する勢いで計画しています。2年後が結婚10周年だから家族全員で海外に行こうかと。目標を持ってお仕事も頑張っています。旅行に行くために仕事している感じですよ。

広: かわいいお二人のお子さんをご出産され、子育て中心の生活にガラッと変わられたと思いますが、仕事と子育ての両立、独立開業ならではのエピソードがあればお願いします。



中:そうですね、子育てをしながらの独立開業のメリットは、誰にも気を遣わずに子どもの送り迎えなどができることですね。生まれてから保育園に入園するまでの約8カ月間は、実家にパソコンとプリンターを設置して在宅で仕事をしてきました。仕事中は母に見てもらってました。保育園に入園が決まり、事務所でようやく仕事ができるようになったのですが、子どもも集団生活が初めてなのですぐに熱を出すわけですね。だから頻繁にお迎え要請がありましたね。すぐ、お迎えに行き、病院に行き…。

広:当然、その間はお仕事がストップしてしまうんですね。

中:そうですね、状況に応じて使用人行政書士との連携や在宅勤務を活用し、業務が滞らないよう努めてきました。アポイントがある際は、「子どもが発熱し、日程を再調整させていただけないでしょうか」と正直に相談すると、皆さま快く受け入れてくださいました。周囲のサポートと皆さまの寛大さに支えられ、仕事と育児を両立できている幸せを日々噛み締めています。

広:中山会員は福岡市スタートアップカフェで相談員をされているそうですが、どのような取組みでいつ行われているか教えていただけますか。

中:福岡市がグローバル創業特区^{注1}になったことでスタートアップ企業を応援する目標を掲げ、弁護士、税理士、司法書士、弁理士、行政書士、日本政策金融公庫の方が相談にあたっています。Fukuoka Growth Next(旧大名小学校跡地)で毎週木曜日18時から20時まで完全予約制で行われています。起業アイデアが固まった方が開業に向けて専門家に相談する感じですね。私たち行政書士は、各種許認可や、定款や契約書の作成、在留資格などについての相談に対応し、一人でも多くの起業家が世界に羽ばたけるよう挑戦をサポートしています。

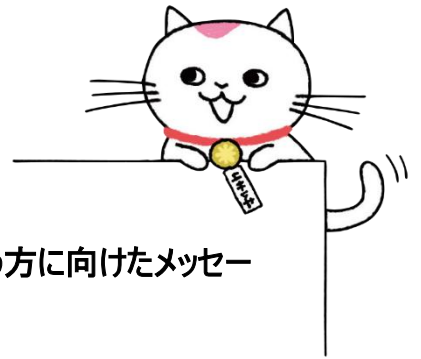


スタートアップカフェでの相談の様子

広:素晴らしい取組みですね。毎回どんな相談が来るかドキドキですね。

中:そうなんです。毎回、どんな相談が来ているのか冷や冷やです。事前に相談内容をチェックすることができるので、専門書を読み漁ったり、先輩の行政書士に相談したりしながら準備しています。でもこういう経験が大事で、普段自分がやらない業務だけど、相談が来て、冷や汗をかきながら調べて、相談に臨む、これも訓練じゃないですか。こういうところで鍛えて本業に活かしていけばいいのかなと。そういった意味で自分の幅を少しずつ無理やり広げているっていうのは感じますね。スタートアップカフェは、私を成長させてくれたいい相談会ですね。あと、待機している間、福岡中央支部の先生方と色々と情報交換もできて凄くためになるんですね。

広:起業に向けて困っている方にはどんどん利用していただきたいですね。



広: 今後、行政書士試験を受けよう、合格して開業しようという方に向けたメッセージをお願いします

中: 私は、行政書士は、努力に対して得られる達成感が大きく、また会費も他の士業に比べて比較的抑えられているから、長く安定して活動しやすい資格だと感じています。子育てをしながら活躍されている先生も多いですし、すごく女性が働きやすい仕事だと思います。私自身、実体験として行政書士試験に合格することで人生が変わりました。開業という道を選んで一切後悔していません。行政書士が少しでも気になるのであれば受験した方がいいと思います。早く決断・行動する人の方が早く先行利益を得ることができます。業務範囲が広く、いかようにも自分色にできるので積極的に挑戦してもらいたいし、私も皆さんに勇気をもってもらえるように活躍していきたいと思います。

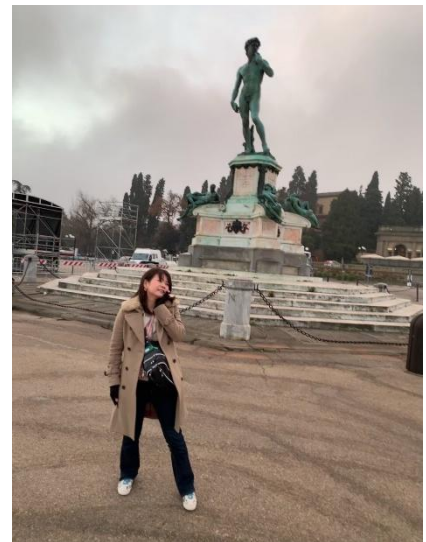
広: では中山会員の展望をお聞きして最後にしたいと思います。

中: 行政書士は、お客様の背中を押す仕事というか、許認可を取ってお客様の仕事をサポートする仕事なのですごく感謝されるし、やりがいを感じます。今後も起業したい方や中小企業支援を中心に据えて、また女性が自立できる社会、女性が手に職を持ってバリバリ活躍できる社会の一端を担えるよう、私自身も頑張りたいです。それには行政書士資格は合っていますよね。行政書士資格を使って女性の社会進出が増えるといいなと思っています。

広: 本日は有意義なお話をありがとうございました。

注1 グローバル創業特区

…福岡市が平成 26(2014)年 5 月に指定された国家戦略特区で創業支援と MICE 誘致(企業会議・旅行・国際会議・展示会・イベント)をテコに、開業率アップ、イノベーションの推進、新規ビジネスの展開、雇用の創出を目指す政策



ダビデ像の前で (イタリア)



～行政書士プロフィール～

中山 優子(なかやま ゆうこ)

登録年月日:平成 22(2010)年 10 月 15 日

事務所所在地:福岡市中央区天神 4 丁目 5 番 10-704

この記事は令和 8 年 5 月 1 日の情報です